

# 「鉄印帳」による地方鉄道活性化プロジェクト

てつ いん ちょう

第三セクター鉄道等協議会  
 (株)日本旅行  
 (株)読売旅行

第三セクター鉄道等協議会（出田貴康会長、以下「三セク協」）は、全国40社の第三セクター鉄道会社との共同事業として、「鉄印」を集めて記帳する「鉄印帳」事業を2020年7月10日から始めます。

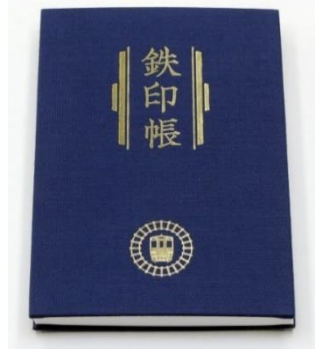
「鉄印」とは、寺社巡りで人気がある御朱印の鉄道版です。地方の三セク鉄道を巡って「鉄印」を集めるといふ、新しい“鉄旅”をご提案します。

(株)日本旅行と(株)読売旅行は、この事業に賛同し、鉄印帳の持つ魅力を引き出す旅行商品をご提供し、事業を応援します。

プロジェクトを通じ、地方鉄道の利用者増を図り、厳しい環境下で奮闘中の地域経済と観光業の活性化につなげたいと考えています。



今企画は、鉄印帳（右写真、定価2,200円）を購入して、各鉄道会社の指定窓口で乗車券を提示の上、記帳料（300円～）を支払うと、各社オリジナルの「鉄印」がもらえるという新しい鉄道旅の提案です。



鉄印には、手書きやスタンプ、プリントなどがあり、イラスト入りやカラフルなものなど各社が工夫を凝らしたこだわりのデザインばかりです。（左）

鉄印帳に記載されている40社全ての鉄印をそろえると、希望者にはシリアルナンバー入りの「鉄印帳マイスターカード」（右）を有料で発行します。

将来的には、鉄印帳や鉄印帳マイスターカードを提示すると沿線の飲食店や土産物店で割引を受けられたり、イベントに優先参加できたりする特典を加える予定です。



(株)日本旅行と(株)読売旅行は2019年、互いの強みを活かし企業価値の向上とサービス強化を図るため業務提携しました。両社ともに、優れた鉄道旅行商品に贈られる「鉄旅オブザイヤー」でグランプリを受賞しています。今回は、両社がそれぞれ企画連動の旅行商品をつくり、読売旅行子会社の(株)旅行読売出版社が鉄印帳の制作に当たります。



三セク協と両社は、全国各地に広がるネットワークを通じて鉄印帳事業を発信し、「三セク鉄道に乗る～沿線を訪ねる～地域産品を買い求め、特産品を味わう」というムーブメントを起こすことを目指します。これから始まる政府の旅行需要喚起策「Go To Travel」キャンペーンとも連動し、全国の三セク鉄道と沿線地域を元気づけていきます。



#### 【参加鉄道会社一覧】

- ①道南いさりび鉄道 ②三陸鉄道 ③IGRいわて銀河鉄道 ④秋田内陸縦貫鉄道 ⑤由利高原鉄道  
 ⑥山形鉄道 ⑦阿武隈急行 ⑧会津鉄道 ⑨野岩鉄道 ⑩わたらせ渓谷鐵道 ⑪真岡鐵道  
 ⑫鹿島臨海鐵道 ⑬いすみ鐵道 ⑭北越急行 ⑮しなの鐵道 ⑯えちごトキめき鐵道  
 ⑰あいの風とやま鐵道 ⑱IRいしかわ鐵道 ⑲のと鐵道 ⑳明知鐵道 ㉑長良川鐵道 ㉒樽見鐵道  
 ㉓天竜浜名湖鐵道 ㉔愛知環状鐵道 ㉕伊勢鐵道 ㉖信楽高原鐵道  
 ㉗京都丹後鐵道(北近畿タンゴ鐵道) ㉘北条鐵道 ㉙若桜鐵道 ㉚智頭急行 ㉛井原鐵道  
 ㉜錦川鐵道 ㉝阿佐海岸鐵道 ㉞土佐くろしお鐵道 ㉟平成筑豊鐵道 ㊱甘木鐵道 ㊲松浦鐵道  
 ㊳南阿蘇鐵道 ㊴くま川鐵道 ㊵肥薩おれんじ鐵道 ※鉄印帳掲載順

#### 【本件に関する問い合わせ先】

(株)旅行読売出版社 鉄印帳係	伊藤、千脇、中野	(電話) 03-6858-4300
(株)読売旅行 地域営業統括部	多田、高野	(電話) 03-6859-4350
(株)日本旅行 秘書広報部	宇野、井村、桑名	(電話) 03-6895-7860
第三セクター鉄道等協議会	本棒、吉田	(電話) 03-5819-6415

\* 鉄印帳の販売場所や鉄印の受付場所・時間などは、各鉄道会社のホームページでご確認ください。新型コロナウイルスの影響などにより、鉄印帳の販売や鉄印の記帳を一時的に休止、または変更する場合があります。

## 「鉄印帳の旅」発売について

株式会社読売旅行（代表取締役社長 坂元隆）は、第三セクター鉄道などを乗り継ぎながら「鉄印」を記帳して回る「鉄印帳の旅」を発売します。第三セクター鉄道等協議会が発売する「鉄印帳」を素材に、読売旅行と日本旅行がそれぞれツアー商品を売り出す「コラボ企画」です。

### ■新商品概要

第1回「東北編」を7月10日より発売 10～11月に毎月2～3本設定

三セク鉄道のオリジナル印“鉄印”がもらえる鉄印帳付きツアー9つの列車をつなぐ！  
みちのく鉄道周遊（3日間）

※コース内容(青字が鉄印がもらえる三セク鉄道)

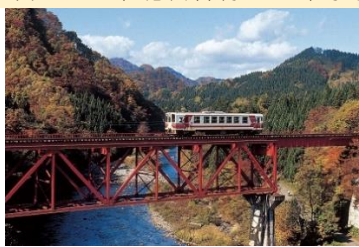
1日目：東京駅発—<東北新幹線・大船渡線>—盛駅—<三陸鉄道リアス線・震災学習列車（三鉄社員が震災時の状況を説明）>—釜石駅 釜石（泊）

2日目：釜石駅—<三陸鉄道>—宮古駅—<山田線>—盛岡駅—<IGR いわて銀河鉄道>—青山駅—<IGR・花輪線（「特製弁当カシオペア」の昼食）>—大館駅 大館市内（泊）

3日目：大館駅—<田沢湖線>—鷹ノ巣駅—<秋田内陸縦貫鉄道（車窓から秘境の絶景。阿仁合駅で散策）>—角館駅（みちのく小京都を散策）—<東北新幹線>—東京駅着



【三陸鉄道 提供:久慈広域観光協議会】



【秋田内陸線 提供:秋田県観光連盟】

「日本全国ぐるっと周遊「鉄印帳」満願をめざします！」シリーズとして、九州、近畿、中四国、東海北陸と順次発売予定です。

### ■コラボの経緯

当社と日本旅行は2019年、両社の強みを活かした企業価値の向上やサービス強化を目的に業務提携しました。両社ともに、優れた鉄道旅行商品に贈られる「鉄旅オブザイヤー」（鉄旅オブザイヤー実行委主催）でグランプリを受賞するなど、鉄旅は大得意。三セク協の「鉄印帳」のアイデアを基に、旅行読売出版社が商品化し、当社と日本旅行が旅行商品として販売します。

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社読売旅行地域営業統括部 担当：多田、高野 （電話）03-6859-4350  
CSR推進室（広報担当）担当：井口、林（電話）03-6859-4349